

ちがうことは 自然なこと

みんなが住みやすい「まち」って
どんな「まち」？
身近なところから考えてみよう




1 学校の中を見てみよう

最初は、身近な友達から…




自分の得意なことや苦手なことを書き出してみよう

ロールプレイング
ゲームは苦手だけど、



パズルゲーム
は得意!



字を読む
のは苦手だけど、



まんが
漫画
は好き!



てっぼう
鉄棒は苦手だけど、



水泳
は得意!



話す
のは苦手だけど、



作文
は得意!



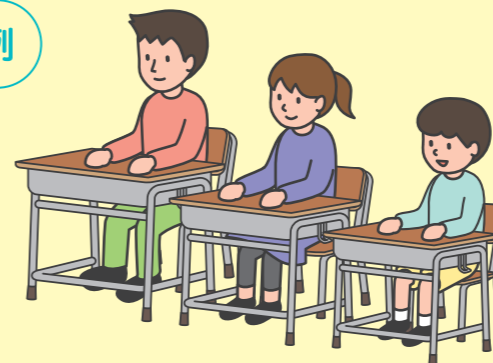
まわりの友達はどうかな？自分と同じかな？

さがしてみよう！学校たんけん



学校の中には、小学生の自分たちが使いやすいように工夫されているものがたくさんあるよ。

例



つくえ
机・いす



かいだん
階段の手すり



学校はみんながすごしやすいように工夫されているんだね。ほかにどんなものがあるか話し合ってみよう。

みんなの学校生活で

- 友達同士おたがいに理解し助け合う心
- 自分にとって使いやすく工夫されたものがあったら、すごしやすいよね。





まちの絵を見ながら、友達やおうちの人と
いっしょに見つけてみよう。

1 どんな人がくらしているかな？

2 バリアはどこにあるかな？

3 バリアを無くしている工夫はどこにあるかな？

4 工夫があるところでもバリアができてしまうのはなんでかな？

5 みんなのバリアを無くすにはどうしたらいいかな？

いろいろな人がくらすまちの中で

- おたがいに理解し、みとめ合う気持ち
 - 自分にとって使いやすく工夫されたもの
- があったら、だれもがこまらないですごしやすいよね。

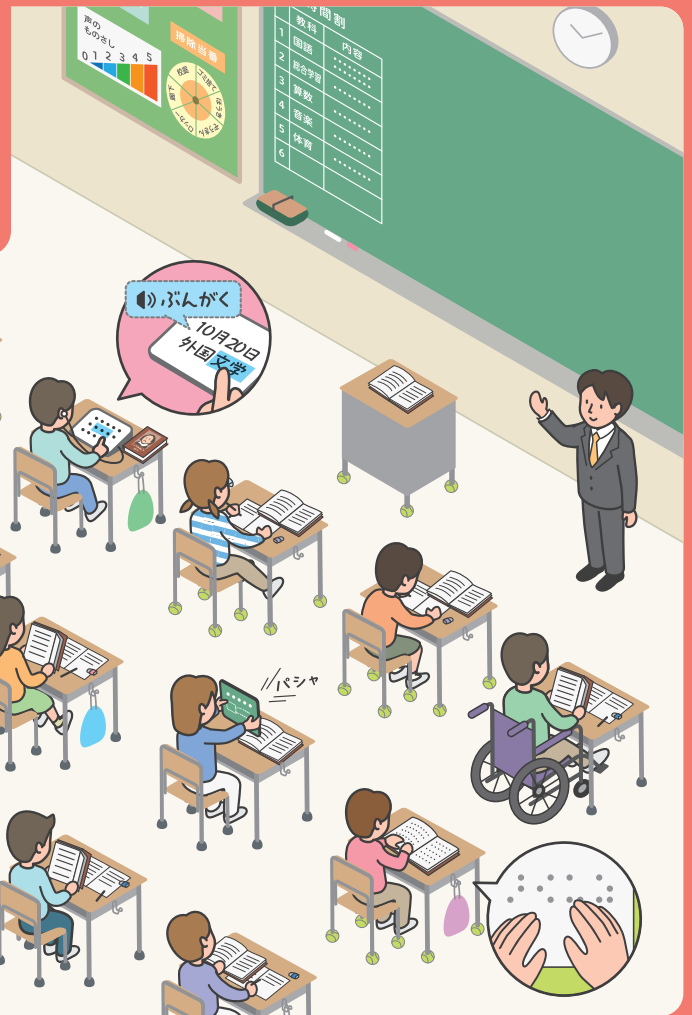


あれ？
わたしたちの学校生活と同じ!!!





とある教室で ちがうことは 自然なこと

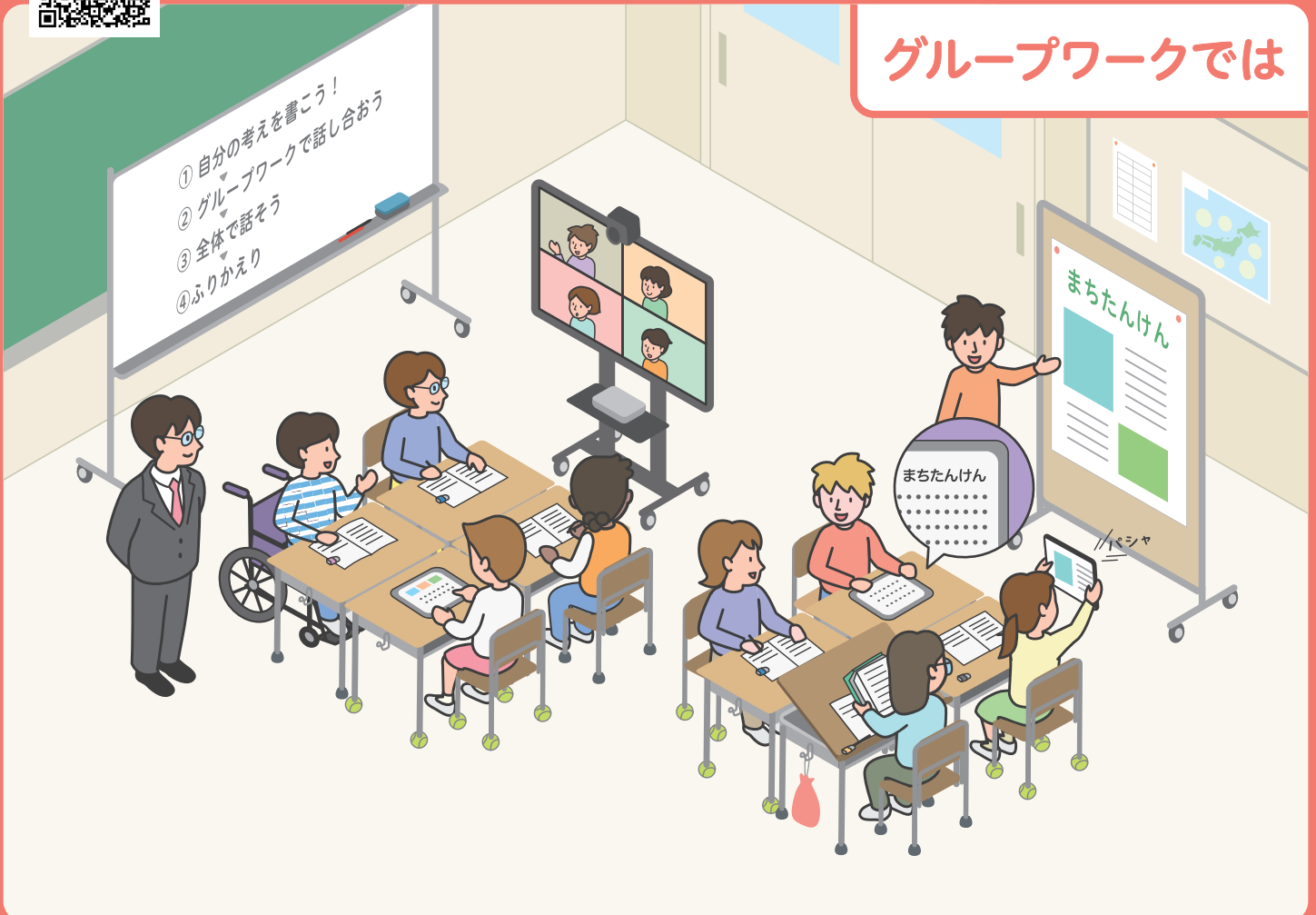


それぞれ自分にあった方法で
勉強しているね



◀ 最後に見てね

グループワークでは



お子さんと話してみよう

横浜市では、エレベーターを設け、段差をなくすなどといったハードのバリアフリーと、人の多様性を尊重し、偏見をなくすソフトのバリアフリーとが一体となった「福祉のまちづくり」を推進しています。

このパンフレットは、誰もが安心して暮らせる「まち」を目指すために、身近な学校と「まち」のなかに存在する障壁(バリア)について理解を深め、それは他人事ではなく、自分たちの生活の中にもあることに気づいていただけるよう、作成いたしました。

まちのなかでは、ハードのバリアフリーは進められてきましたが、様々な人たちが、お互いを認め合う(大切にする)気持ちがないことで、思い込みや偏見による差別という大きなバリアを無意識に作り出してしまうこともあります。

身近な家庭や学校生活、まちなかで、自分たちが直面している困りごとに対して、どんなバリアがあるのか、みんなで気づき、バリアをなくすために、皆さんそれぞれの立場で行動できることについて、お互いに話し合い、考えて頂ければ幸いです。

こまっている人がいたら、自分ができたいな。

でもどうやって手伝ったらいいのか、わかんないときあるよね。

知らなくても「どうしたらいいですか」と聞いてみるといいんじゃない？

